



つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 59号 2010.5.12 発行 社会政策研究所

=====

< 第3の自立支援：支援つき自己決定を >

第1に自立支援は、経済的に自活できることを目指します。第2の自立支援は、自己選択自己決定を目指します。そして、第3の自立支援は、支援つき自己決定を仕組みとして入れていこうとするものです。この支援つき自己決定について考える機会があります。

今年もNPO法人全国障害者生活支援研究会（通称サポート研）の案内が来ました。できるかぎり時間を作って参加をしています。いつもながら知的障害者支援の最新の課題をとりあげ、検討と研究を進めておられる一団に感謝します。しかし、政権交代による政策への影響力はその後どうでしょうか。政治は真実と事実をうまく使い分けます。野党の言い分は真実であっても事実とはされないこともあります。長年の野党支持者はこのことをいやというほど経験してきたはずで。

あくまでも、政治は事実をもとに実行されていくのです。現場の真実を政治的事実にどう作り上げていくのか。それが政策形成能力かもしれません。真実と事実でややこしくなりましたが、ともあれ、サポート研、その案内文からすばらしい問題意識を紹介します。開催場所は横浜ですが、よろしければ大阪からもご参加ください。【kobi】

支援つき自己決定・協同決定（共同決定・協働決定）を前提とする知的障がい者等の福祉制度のあり方を検討する。

知的障がい者は「自己決定そのものへの支援」を必要としています。これが自己決定のできる身体障害者との大きな違いです。現在政府の障がい者制度改革推進会議および総合福祉部会では、身体障害者団体から「自己決定」を前提とする「セルフマネジメント」が強調され、知的障がい者に必要な支援サービスの議論も低調であるようにみえます。障害者自立支援法は「介護」概念で制度設計され、障害程度区分の認定も「介護時間数」が基本となっています。知的障がい者に合わない身体障害中心の制度設計が、総合福祉法でも形を変えて繰り返される可能性があります。また民主党の「現行手帳を廃止して社会参加カードに統一する」という案も、知的障がい者支援の特徴が無視される危険性を含んでいると言えます。措置制度から契約制度に変わった時、知的障がい者の自己決定を尊重すべき事が明確になった事は大きな前進でした。しかし知的障がい者の自己決定を補うには、成年後見制度だけでは不十分であると言えます。インクルージョン・ヨーロッパは、知的障がい者本人の意思を無視する可能性のある後見制度から「支援つき自己決定」に移行するよう提案しているのです。（2008年）

スウェーデンは、身体障害者福祉を含む総合福祉法としての「社会サービス法」の上に、「知的障害者福祉法」を改正した「機能障害者援護法」(LSS、1994年)を制定しました。LSSの対象は、知的障害者・自閉症者、高次脳機能障害者、重度の身体的・精神

的機能障害者であり、サービス内容として、パーソナルアシスタント、ガイドヘルプ、コンタクトパーソン、ショートステイ、グループホーム、デイセンター等を定めています。また「支援・サービスの活動の内容を決めるにあたっては、可能な限り本人の意志を尊重し、本人との共同決定が行われなければならない」(吉川かおり訳)と定めているのです。

我が国の障害者総合福祉法を検討するに当たり、「支援つき自己決定・協同決定(共同決定・協働決定)」を前提とする知的障がい者等の福祉制度のあり方を検討するために、二文字理明氏(大阪教育大学)、大滝昌之氏(スウェーデン・クオリティケア・コンサルタント)を招いて、スウェーデンの知的障がい者福祉制度についてみなさんとともに学びたいと考えています。

5月22日午後の開催、詳しくは、下記案内をご覧ください。

<https://www.kanon-net.com/upload/list/1273563303110.pdf>

なお、上記和訳に登場した吉川かおりさんは、現在、全日本手をつなぐ育成会が全国で取り組む「家族支援プロジェクト」「障害認識プログラム」などの推進役をしている人です。これからの「支援つき自己決定」を支援の仕組みに取り入れ、現在の成年後見制度の不十分な点を一緒に考えていかなければなりません。「家族支援プロジェクト」も「障害認識プログラム」も発端は成年後見制度の活用という視点でした。

「支援つき自己決定」の制度化は、療育手帳制度、障害基礎年金や、養護学校卒業後の作業所作り、交通割引制度の適用、そして、グループホームの充実、所得保障などに続く、次代の育成会活動の中核テーマになることと思います。

7月30日(金)・31日(土)の2日間、大阪市北区でこのプログラムの西日本研修を予定しています。予定を空け、案内が出来上がるのを楽しみにお待ちください。【kobi】

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行